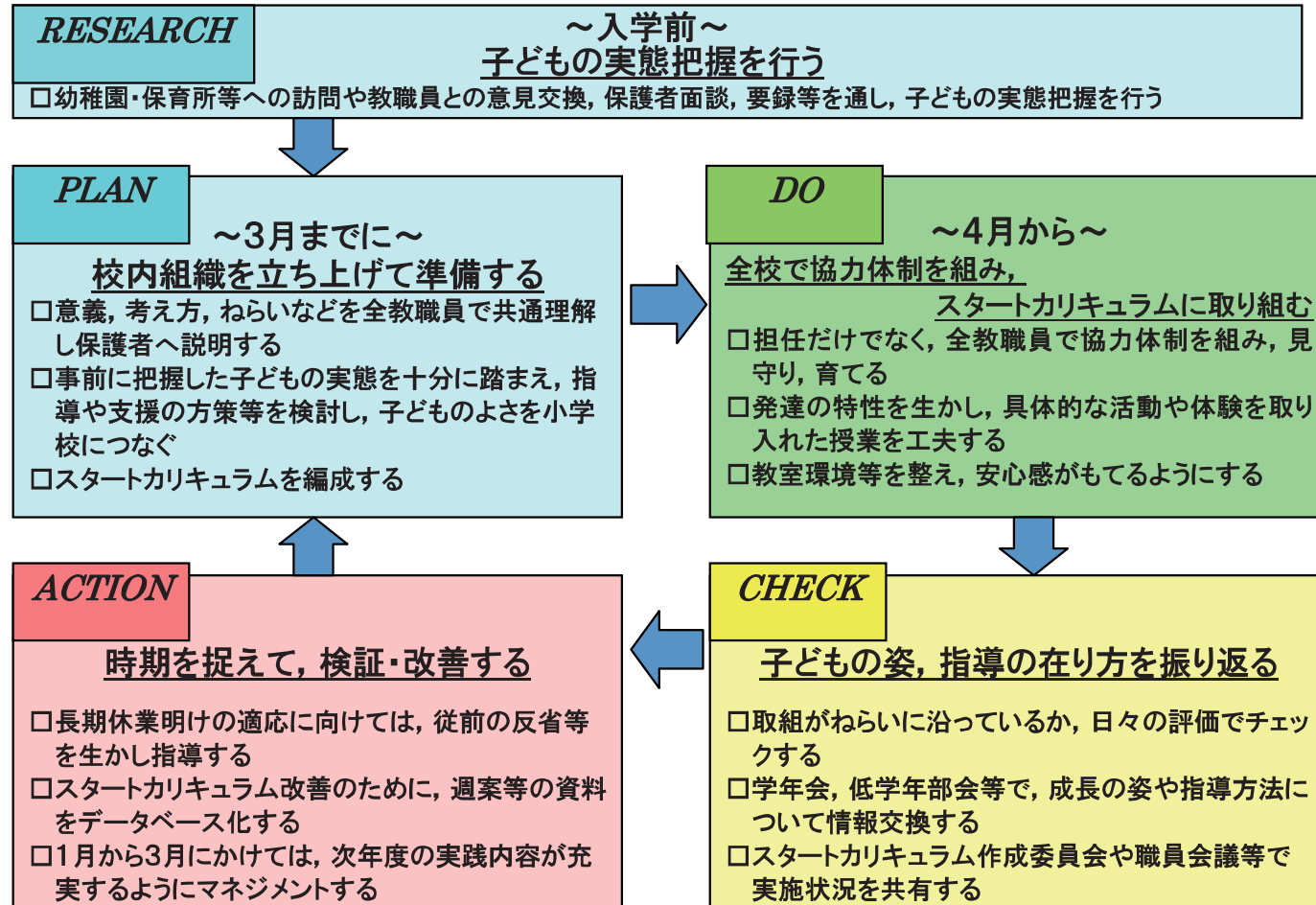


スタートカリキュラムを検証・改善しましょう



就学前施設と小学校との交流活動を紹介します



<参考資料>

- スタートカリキュラムについては、以下の資料にも詳しく記載されております。
- ・「京都市発 幼小をつなぐ 接続期カリキュラム」, 「接続期カリキュラムⅡ (実践編)」
 - ・「スタートカリキュラム スタートブック (平成27年文部科学省)」

京都市教育委員会 学校指導課 (初等教育担当)
お問い合わせ先 075-222-3806

子どもの学びと育ちをつなぐスタートカリキュラム

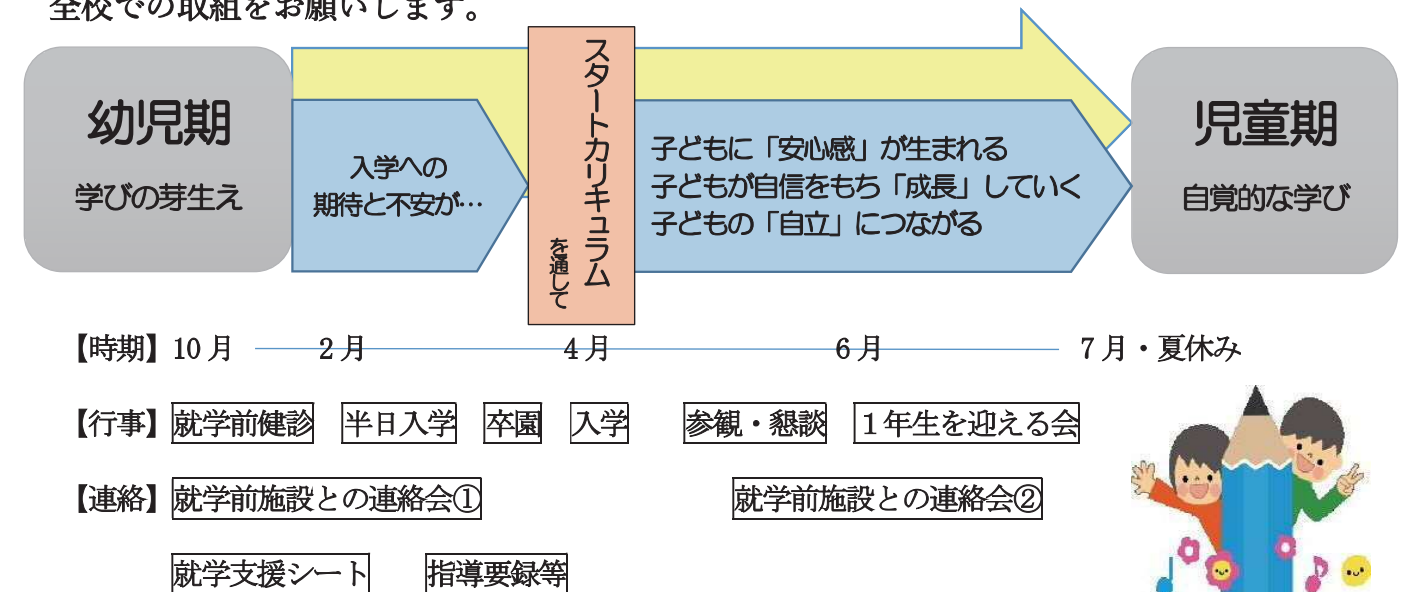
保幼小接続の推進

小学校に入学してくる子どもは、幼稚園・保育園 (所)・認定こども園などの遊びや生活を通して、一步一步小学校以降へと続く学びと育ちの基礎を築いてきています。

スタートカリキュラムとは、そうした成長過程にある子どもたちの姿を手がかりとして、保幼小間で子どもたちの学びと育ちを接続することにより、子どもたちが小学校においても、主体的に自己を発揮できる環境を全校で創り出していくためのカリキュラムです。

新学習指導要領総則 (解説編) には、保幼小接続期 (特に小学校入学当初) において、「幼児期の遊びを通じた総合的な指導を通じて育まれてきたことが、各教科等における学習に円滑に接続されるよう、スタートカリキュラムを児童や学校、地域の実情を踏まえて編成し、その中で、生活科を中心に、合科的・関連的な指導や弾力的な時間割の編成など、指導の工夫や指導計画の作成を行うことが求められる。」と示されています。

スタートカリキュラムを学校全体で実践し、全教職員が子どもを見守ることで安心感が生まれ、スムーズに小学校生活に適応していくことにより、6年間を見通した小学校教育全体の改善へとつながります。管理職のリーダーシップの下、各校の状況に応じて、学校体制として全校での取組をお願いします。



<キーワードは、「安心」「成長」「自立」> → 子どもが明日も来なくなる学校づくりのために

【安心】

- ・幼児期に親しんできた遊びや活動を取り入れることで、安心して学習に取り組めます。
- ・分かりやすく学びやすい環境を構成することで、安心して学校生活を送れます。

【成長】

- ・活動や体験を通じて子どもたちの心をほぐし、安心感をもたせることで、自己を発揮することができます。
- ・先生や友達に認められることで、自信や意欲が生まれます。

【自立】

- ・「学びの自立」「生活上の自立」「精神的自立」の3つの自立を意識し、子ども主体の学習活動を行うことで、自ら考え、判断し、行動するようになり、学びの基礎ができます。

保幼小の円滑な接続は、子どもを

幼児期の終わりまでに育ってほしい姿（10の姿）

保幼小で共通理解「子どもを知る」

知る ことから始まります



幼児期は、教職員との信頼関係の中で安心して生活を送ることを基盤に、子ども一人一人の発達に応じた援助が行なわれることにより、子どもたちが“やってみたい”という自発的な思いから“夢中になって遊び込む”ことで、小学校で育むべき資質・能力の基礎が培われ「学びに向かう力」が育まれていきます。

新しい幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領では、就学前施設から小学校への円滑な接続を進めるための手がかりとして「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿（10の姿）」が示されています。「10の姿」は日常の様々な活動の中で、幼児が意欲的に取り組む具体的な姿として具現化されています。

＜「10の姿」を見ることができる幼稚園の事例・・・お芋パーティーの日＞

園内で育てたサツマイモを5歳児が調理して、3・4歳児を招待します。

- ①健康な心と体 食べることの楽しみや喜びを感じることが、食育の基礎となります。
- ②自立心 3・4歳児を招待するという共通目標に向けて、やり遂げる達成感を味わうことで、次の活動への意欲に繋がります。
- ③協同性 クラスの仲間と協力して準備を進める中で、お互いに思いや考えを共有します。
- ④道徳性・規範意識の芽生え 「おもてなし」の心で、普段に増して3・4歳児への思いやりの心をもって接します。
- ⑤社会生活との関わり 地域の未就園児の親子も招待することで、新しい出会いの喜びを感じます。地域社会との関わりの第一歩となります。
- ⑥思考力の芽生え 招待した3・4歳児に喜んでほしいという思いから、必要な準備を自分たちで考える様子が見られます。
- ⑦自然との関わり・生命尊重 サツマイモの苗を植え、成長するまで育てることで、収穫の喜びと食べることの大切さを感じます。
- ⑧数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚 お客さん全員にお芋が平等に行きわたるよう考え、数を数えます。
- ⑨言葉による伝え合い クラスの仲間と言葉で伝え合うようになり、自分の思いが伝わらないもどかしさを感じながらも伝わる喜びを感じ、振り返りの際はたくさんの思いが言葉として出てきます。
- ⑩豊かな感性と表現 3・4歳児が喜んでくれたことが、招待した5歳児にとって嬉しいことであると実感します。



「何味にする？」優しく聞く5歳児。一生懸命に答える3歳児。



「招待したい」という思いが、メニューを書く活動へと向かわせます。文字への関心にも繋がります。



「おもてなし」の心から、同じ数になるように、きちんと数えて準備します。



「みんな喜んでくれた」という達成感・充実感を共有します。



子どもたちは、5歳児（お兄さん、お姉さん）として活躍した園生活を終え、大好きな先生や友だち、慣れ親しんだ園舎から離れ、期待と不安をともに抱えて小学校という新しい世界に向かいます。保幼小の教職員が、「10の姿」という共通の視点を通して子どもを見守り、学びと育ちの姿を共有しましょう。



スタートカリキュラム作成のための基本的な考え方

- 安心して自ら学びを広げる「学習環境」を整えましょう
- 生活科を中心に、合科的・関連的な指導の充実を図りましょう
- 子どもの発達を踏まえ、時間割や学習活動を工夫しましょう

手順1 安心して自ら学びを広げる「学習環境」を整えましょう

人的な環境

担任の笑顔…子どもに安心感を与えます

認める、ほめる…自己肯定感が高まります

全教職員の見守り…新入生を優しく温かく包みます

異学年との関わり…上級生のよさや優しさとふれあいます

空間的な環境

美しい教室…そろえること、美しくすることの大切さを知ります

活動に合わせた机の配置…互いの顔が見え、安心感がもてます

教室掲示の工夫…意欲・関心を高め、見通しをもたせます

丁寧な板書…学ぶことの大切さが一目でわかります

手順2 長期的な視野に立って、計画を立てましょう

【入学から夏休みまでのカリキュラム例】

時期	4月第2週	4月第3週	4月第4週	5月第1・2週	5月第3・4週	6月～7月
テーマ	今日から1年生	どうぞよろしくお願いします	楽しく安全な学校生活	広げよう友だちの輪	仲よいいっぱい	進んで学ぼう 見つけよう
ねらい	・一対一の関係を大切にしながら、新しい先生や友だちと交流し慣れ親しむ。 ・学校は安全で楽しいところだという思いをもつ。	・学校生活にはきまりや約束があることを知る。 ・楽しかったことを学級の友だちと共有し、学校生活への意欲をもつ。	・友だちとたくさんかわり、新しい集団に慣れる。 ・通学路の様子を確認し、楽しく安全な登下校について考える。	・休み時間や諸活動で友だちとのかかわりを広げ、自分らしさを発揮する。 ・異学年の友だちや教職員、学校施設に慣れ親しむ。	・活動で気付いたことや楽しかったことを絵、言葉、身体表現等で表す。 ・学校生活を支えてくださる方とのかかわりを深める。	・各教科の学習に意欲的に取り組む。 ・集団でのきまりや約束がわかり、規律ある生活を送る心地よさを感じる。

手順3 生活科を中心に、合科的・関連的な指導の充実を図りましょう 子どもの発達を踏まえ、時間割や学習活動を工夫しましょう

□学習活動の配列や時間配分を工夫しましょう
子どもの実態に応じて、1/2時間やゆったりと2時間続きの学習を設定するなど、学習活動の配列や時間を工夫しましょう

□1日の流れや1時間の流れを示し見通しがもてるようにしましょう
教室のボードに、時間の流れや活動場所を示し、子どもたちが見通しをもち、安心して活動に取り組めるようにしましょう

＜今週のテーマ＞ 明るくあいさつ、楽しい学校

時	〇月〇日(〇)	〇月〇日(〇)	〇月〇日
1	仲よくなろう（学1/2） ・明るくあいさつしよう 何て言おうかな（国1/2） ・日常のあいさつを知ろう	仲よくなろう（学1/2） ・話し方、聞き方名人を目指そう 仲よく歌おう（音1/2） ・校歌を歌おう	さあ 始めよう ・読んだ本について 自分のことは自分 ・体操服への着が
2	学校を探検しよう（生1） ・校舎を歩こう ・気付いたことを伝えよう	オリエンテーション（算1） ・挿絵からお話を作ろう	学校を探検しよう ・南校舎を歩こう ・気付いたことを伝
3	オリエンテーション（算1/2） ・挿絵から見つけよう 仲よく歌おう（音1/2）	交通安全教室（学校行事1） ・交通のルールや約束を知り、安全に登下校できるようにしよう	どんどん描こう ・好きなことを表 自分のことは自